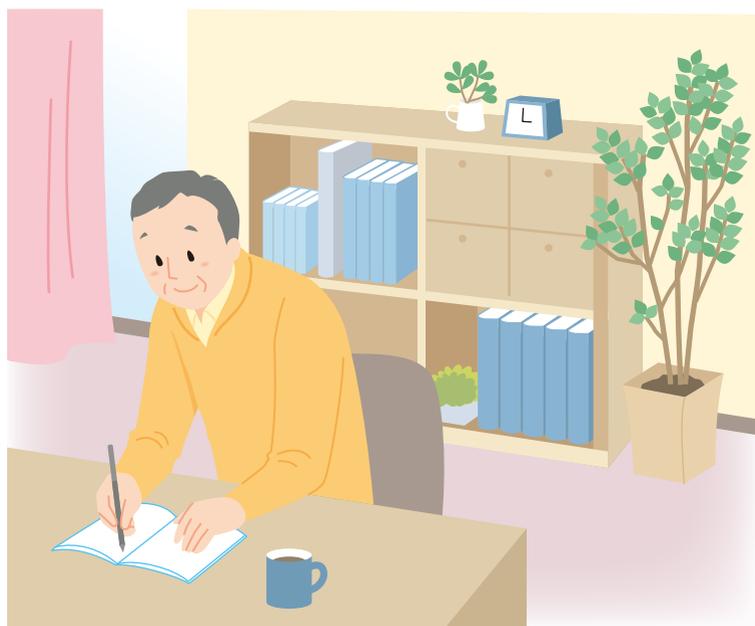


治療日誌

ボルテゾミブ[®]注射用「DSEP」 による治療を受けられる 患者さんご家族の方へ

〈監修〉日本赤十字社医療センター
骨髄腫アミロイドーシスセンター長 石田 禎夫 先生



第一三共エスファ株式会社



目次

はじめに	4
① ボルテゾミブ注射用「DSEP」治療中におけるご注意	5
② ボルテゾミブ注射用「DSEP」の治療スケジュール	6
③ 気になる症状をチェックする	14
④ 治療日誌をつける	20

はじめに

この治療日誌は、患者さんが、ボルテゾミブ注射用「DSEP」による治療を安全に受けられるように、ご自身の体調や副作用をチェックして記録するためのものです。

ボルテゾミブ注射用「DSEP」は、がん化した血液の細胞に作用して増殖を抑える反面、正常な細胞にも影響を及ぼして副作用が現れることがあります。そのため、ボルテゾミブ注射用「DSEP」の治療を受けられる患者さんには副作用や注意すべき症状などを正しくご理解いただき、早期発見につとめていただく必要があります。

この治療日誌には、ボルテゾミブ注射用「DSEP」の治療中に注意すべき症状が記載されています。治療中は、毎日チェックしていただき、気になる症状が現れた場合は、速やかに主治医・薬剤師・看護師などの医療スタッフにご連絡ください。



1

ボルテゾミブ注射用「DSEP」治療中におけるご注意

● **ボルテゾミブ注射用「DSEP」治療中は定期的に受診してください。**

ボルテゾミブ注射用「DSEP」は定められた間隔で注射することにより、効果が得られます。また、副作用が出ていないかどうかを**定期的にチェック**することも必要です。外来で注射を受けているときは、決められた日に必ず来院してください。

● **他の病院や診療科を受診する場合には、ボルテゾミブ注射用「DSEP」による治療を受けていることを、お伝えください。**

ボルテゾミブ注射用「DSEP」治療中は**併用する薬剤などへの注意**が必要です。他の病院や診療科にかかる場合には、主治医・薬剤師・看護師などの医療スタッフに**ボルテゾミブ注射用「DSEP」による治療を受けていることを、お伝えください。**

● **ボルテゾミブ注射用「DSEP」以外の薬を使用する前にはご相談ください。**

ボルテゾミブ注射用「DSEP」治療中には**一緒に使用できない薬**もあります。使用する前に一度主治医・薬剤師・看護師などの医療スタッフにご相談ください。

● **体調がいつもと違うと感じた場合は、いつでもご連絡ください。**

咳、息切れなどの呼吸器症状や今までになかった症状が現れた場合には、次の診察日まで待たずに速やかに主治医・薬剤師・看護師などの医療スタッフまでご連絡ください。

● **ボルテゾミブ注射用「DSEP」治療中は避妊するようご注意ください。**

ボルテゾミブ注射用「DSEP」は胎児への安全性が確認されていませんので、ボルテゾミブ注射用「DSEP」治療中は避妊が必要です。また、現在妊娠中の方、授乳中の方は主治医・薬剤師・看護師などの医療スタッフにご相談ください。

2 ボルテゾミブ注射用「DSEP」の治療スケジュール

● ボルテゾミブ注射用「DSEP」による治療方法とは？

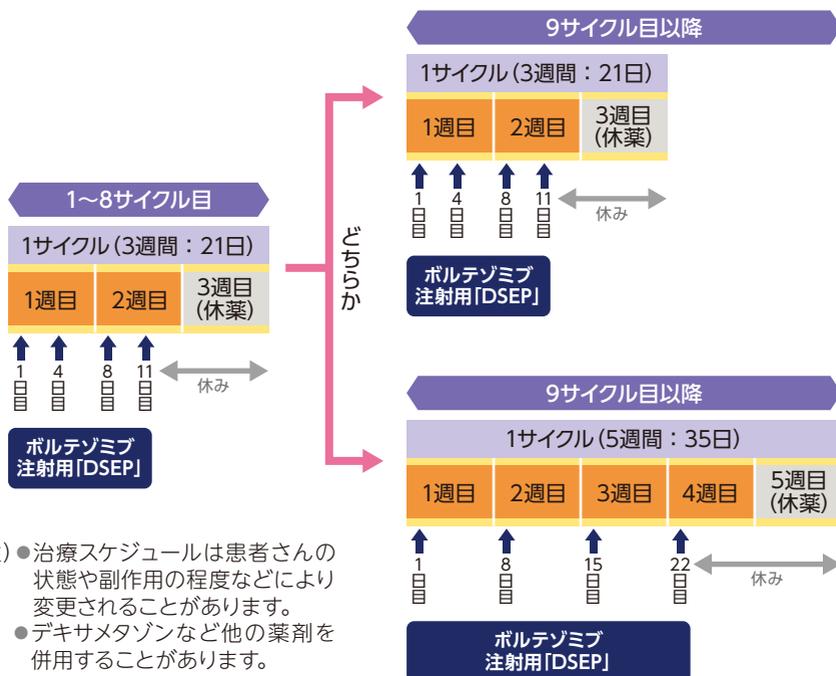
再発又は難治性の多発性骨髄腫に対する治療の場合

通常、ボルテゾミブ注射用「DSEP」は1日1回1.3mg/m² (体表面積)を1週間に2回ずつ、2週間(1、4、8、11日目)静脈内又は皮下*に注射した後、10日間(12～21日目)休みます。このサイクルを何回か繰り返します。

9サイクル目以降はそれまでと同じサイクルで繰り返す方法と、注射を週に1回にして4週間(1、8、15、22日目)静脈内又は皮下*に注射した後、13日間休むサイクルを繰り返す方法の2通りがあります。

ボルテゾミブ注射用「DSEP」は、最低72時間空けて注射をします。

*両大腿部、腹部に場所を替えながら注射します。



注) ● 治療スケジュールは患者さんの状態や副作用の程度などにより変更されることがあります。

● デキサメタゾンなど他の薬剤を併用することがあります。

多発性骨髄腫に対するMPB療法の場合

MPB療法は、メルファラン、プレドニゾン、ボルテゾミブを併用する療法です。

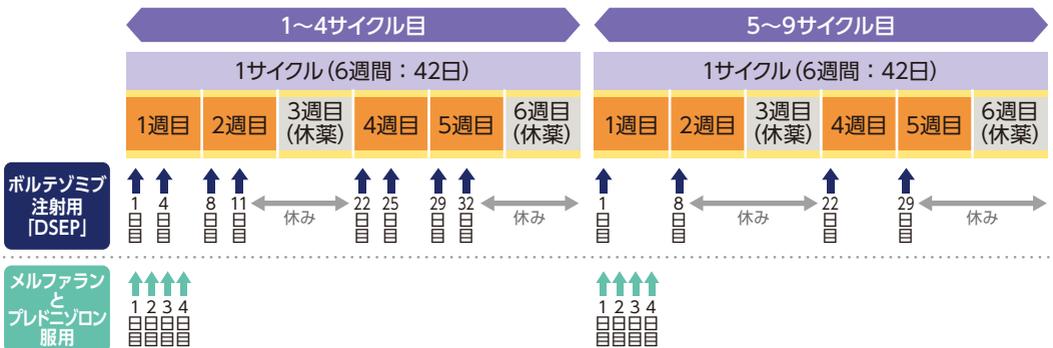
通常、ボルテゾミブ注射用「DSEP」は1日1回1.3mg/m²(体表面積)を1週間に2回ずつ、2週間(1、4、8、11日目)静脈内又は皮下*に注射した後、10日間(12～21日目)休みます。この3週間を2回繰り返す(6週間)のを1サイクルとして4回繰り返します。

5サイクル目以降は、週に1回ずつ、2週間(1、8日目)静脈内又は皮下*に注射した後、13日間(9～21日目)休みます。この3週間を2回繰り返す(6週間)のを1サイクルとして9サイクルまで繰り返します。

ボルテゾミブ注射用「DSEP」は、最低72時間空けて注射をします。

また、メルファランとプレドニゾンを各サイクルの1週目(1～4日目)に服用します。

*両大腿部、腹部に場所を替えながら注射します。



注)患者さんの状態や副作用の程度により、週1回の注射にするなど、治療スケジュールが変更されることがあります。

多発性骨髄腫に対するDMPB療法の場合

DMPB療法は、ダラツムマブ、メルファラン、プレドニゾロン、ボルテゾミブを併用する療法です。

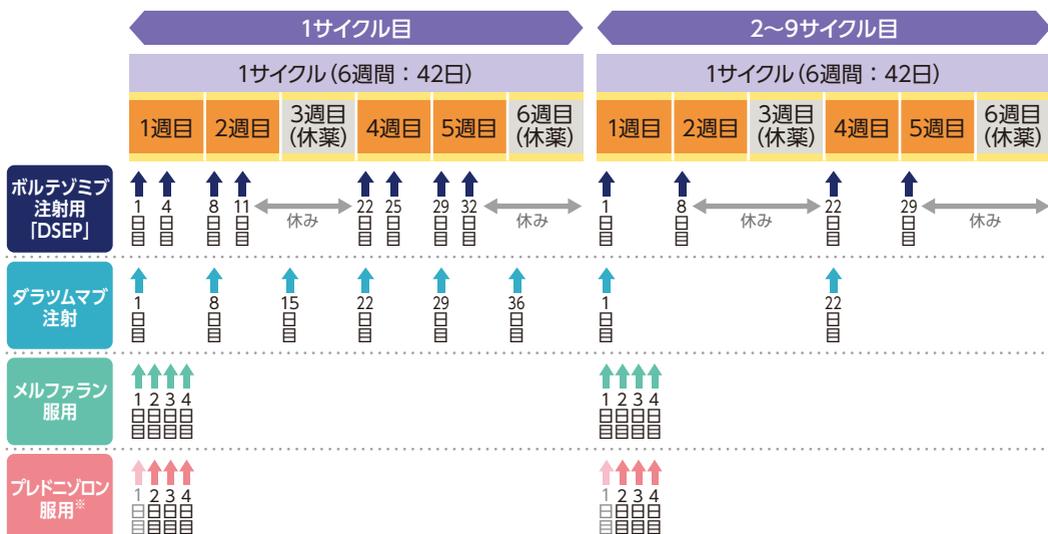
通常、ボルテゾミブ注射用「DSEP」は1日1回1.3mg/m²(体表面積)を1週間に2回ずつ、2週間(1、4、8、11日目)静脈内又は皮下*に注射した後、10日間(12～21日目)休みます。この3週間を2回繰り返す(6週間)のを1サイクルとして1回行います。

2サイクル目以降は、週に1回ずつ、2週間(1、8日目)静脈内又は皮下*に注射した後、13日間(9～21日目)休みます。この3週間を2回繰り返す(6週間)のを1サイクルとして9サイクルまで繰り返します。

ボルテゾミブ注射用「DSEP」は、最低72時間空けて注射をします。

また、ダラツムマブを、1サイクル目は1週間間隔、2～9サイクル目は3週間間隔、それ以降は4週間間隔で注射します。メルファランを各サイクルの1週目(1～4日目)に、プレドニゾロンを各サイクルの1週目(1～4日目)に服用します。

*両大腿部、腹部に場所を替えながら注射します。



※1日目はダラツムマブの副作用予防のための前治療としてデキサメタソンを内服又は注射することができます。

注)患者さんの状態や副作用の程度により、治療スケジュールが変更されることがあります。

治療スケジュール

多発性骨髄腫に対するIsaVRd療法の場合

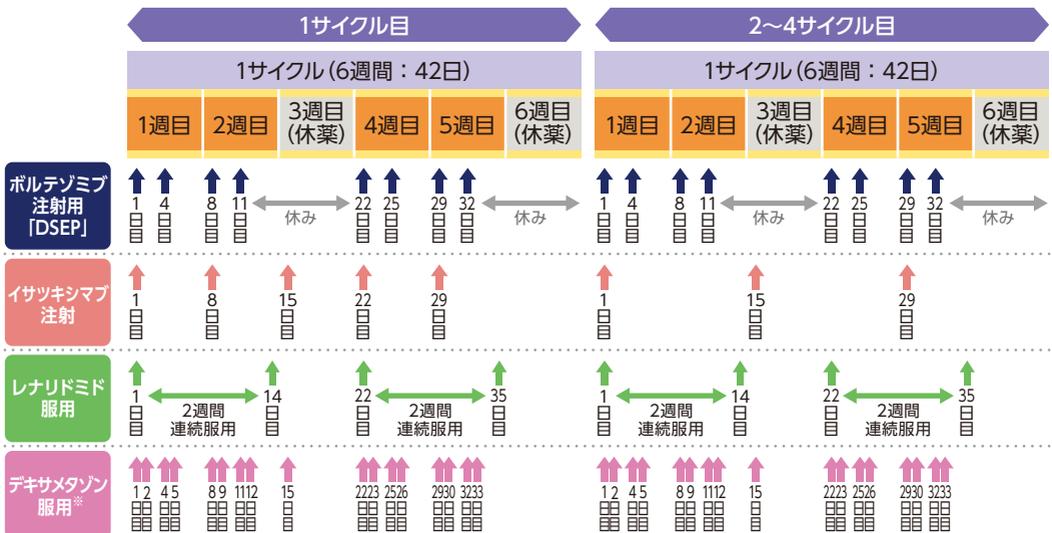
IsaVRd療法は、イサツキシマブ、ボルテゾミブ、レナリドミド、デキサメタゾン
を併用する療法です。

通常、ボルテゾミブ注射用「DSEP」は1日1回1.3mg/m²(体表面積)を1週間に2回ずつ、2週間(1、4、8、11日目)静脈内又は皮下*に注射した後、10日間(12～21日目)休みます。この3週間を2回繰り返す(6週間)のを1サイクルとして4回繰り返します。

ボルテゾミブ注射用「DSEP」は、最低72時間空けて注射をします。

また、イサツキシマブを1サイクル目は1週間間隔で5回、2～4サイクル目は2週間間隔で点滴します。レナリドミドを2週間連続で服用後1週間休むのを4回繰り返します。デキサメタゾンを1、2、4、5、8、9、11、12、15日目に服用後、6日間休むのを4回繰り返します。

*両大腿部、腹部に場所を替えながら注射します。



*イサツキシマブ投与日は、デキサメタゾンを静脈内に注射します。

注)患者さんの状態や副作用の程度により、治療スケジュールが変更されることがあります。

未治療の移植適応多発性骨髄腫に対するDBLd療法の場合

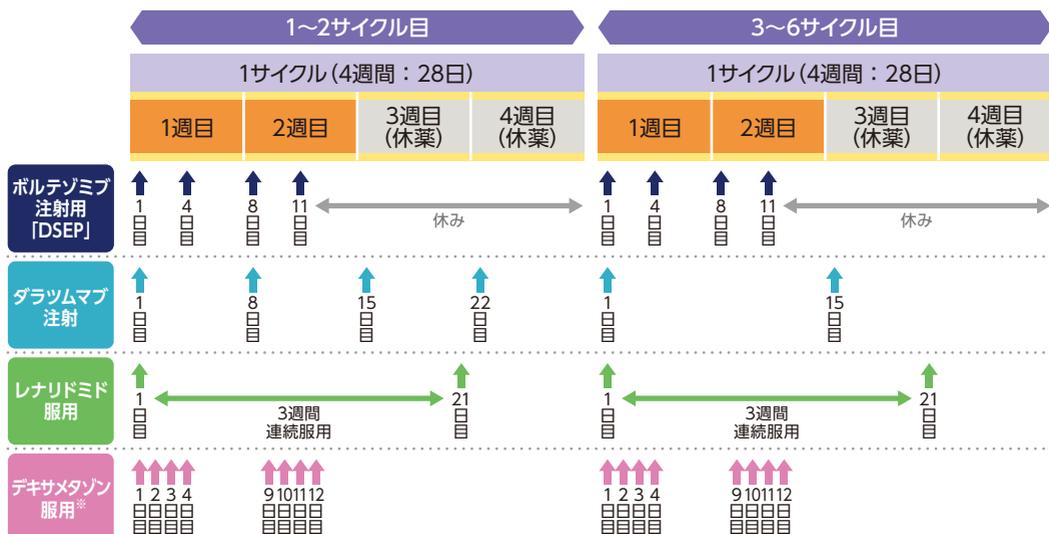
DBLd療法は、ダラツムマブ、ボルテゾミブ、レナリドミド、デキサメタゾン
を併用する療法です。

通常、ボルテゾミブ注射用「DSEP」は1日1回1.3mg/m²(体表面積)を1週間に2回ずつ、2週間(1、4、8、11日目)静脈内又は皮下*に注射した後、17日間(12～28日目)休みます。この4週間を1サイクルとして6回繰り返します。

ボルテゾミブ注射用「DSEP」は、最低72時間空けて注射をします。

また、ダラツムマブを1～2サイクル目は1週間に1回、3～6サイクル目は2週間に1回注射します。レナリドミドを1～6サイクル目は3週間連続で服用後1週間休むのを6回繰り返します。デキサメタゾンを1～6サイクル目は1～4日目、9～12日目に服用後、16日間休むのを繰り返します。

*両大腿部、腹部に場所を替えながら注射します。



*各サイクル1日目のダラツムマブ投与日は、投与1～3時間前にデキサメタゾンを静脈内又は経口投与します。

注)患者さんの状態や副作用の程度により、治療スケジュールが変更されることがあります。

治療スケジュール

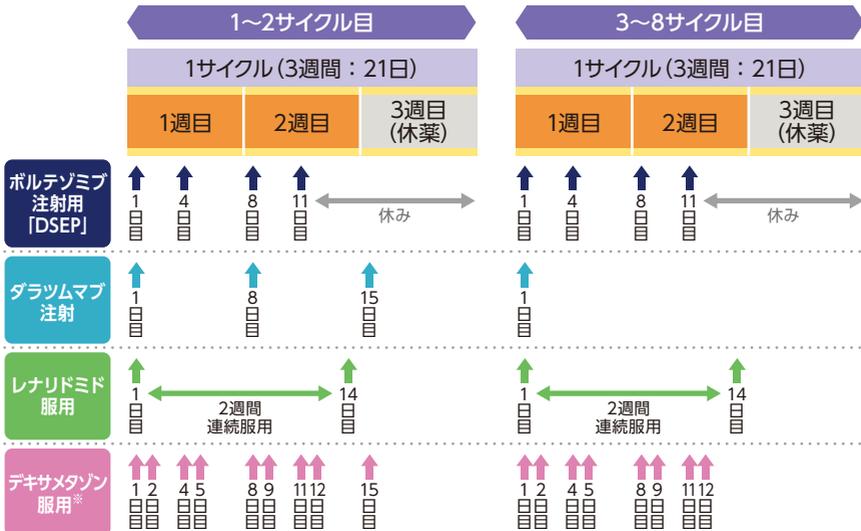
未治療の移植非適応多発性骨髄腫に対するDBLd療法の場合

通常、ボルテゾミブ注射用[DSEP]は1日1回1.3mg/m²(体表面積)を1週間に2回ずつ、2週間(1、4、8、11日目)静脈内又は皮下*に注射した後、10日間(12～21日目)休みます。この3週間を1サイクルとして8回繰り返します。

ボルテゾミブ注射用[DSEP]は、最低72時間空けて注射をします。

また、ダラツムマブを1～2サイクル目は1週間に1回、3～8サイクル目は3週間に1回注射します。レナリドミドを2週間連続で服用後1週間休むのを8回繰り返します。デキサメタゾン^{*}を1～2サイクル目は1、2、4、5、8、9、11、12、15日目に服用後、6日間休むのを繰り返し、3～8サイクル目は1、2、4、5、8、9、11、12日目に服用後、9日間休むのを繰り返します。

*両大腿部、腹部に場所を替えながら注射します。



*ダラツムマブ投与日は、投与1～3時間前にデキサメタゾンを静脈内又は経口投与します。

注)患者さんの状態や副作用の程度により、治療スケジュールが変更されることがあります。

マンテル細胞リンパ腫に対する治療の場合

通常、ボルテゾミブ注射用「DSEP」は1日1回1.3mg/m²(体表面積)を1週間に2回ずつ、2週間(1、4、8、11日目)静脈内に注射した後、10日間(12～21日目)休みます。3週間を1サイクルとして、6サイクルまで繰り返します。なお、6サイクル目で初めて効きめが現れた場合には、8サイクルまで治療を繰り返します。

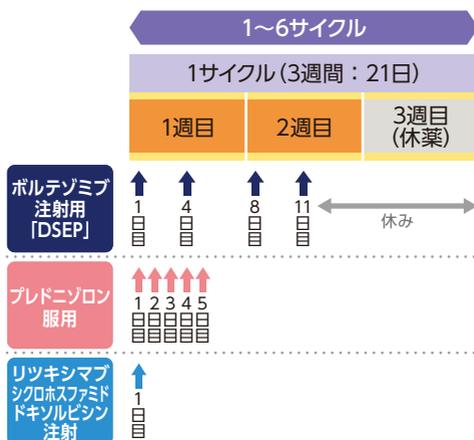
静脈内への注射が困難な場合には、皮下に注射します*。

ボルテゾミブ注射用「DSEP」は、最低72時間空けて注射をします。

また、プレドニゾン各サイクルの1週目(1～5日目)に服用します。

リツキシマブ・シクロホスファミド・ドキシソルピシンを各サイクルの1週目(1日目)に注射します。

*両大腿部、腹部に場所を替えながら注射します。



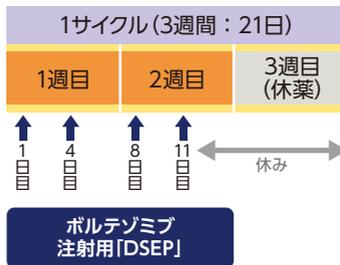
注)重い副作用がみられるような場合には、投与量を減らしたり、一時的に中断したり、あるいは中止することがあります。

原発性マクログロブリン血症 / リンパ形質細胞リンパ腫に対する治療の場合

通常、ボルテゾミブ注射用「DSEP」は1日1回1.3mg/m² (体表面積) を1週間に2回ずつ、2週間(1、4、8、11日目) 静脈内又は皮下*に注射した後、10日間(12～21日目) 休みます。3週間を1サイクルとして、このサイクルを繰り返します。

ボルテゾミブ注射用「DSEP」は、最低72時間空けて注射をします。

*両大腿部、腹部に場所を替えながら注射します。



注) ●治療スケジュールは患者さんの状態や副作用の程度などにより変更されることがあります。

●リツキシマブなど他の薬剤を併用することがあります。

3 気になる症状をチェックする

副作用には、患者さんが自分で気づくもの(自覚症状)と病院で検査をして初めてみつかるものがあります。このため、定期的に検査を受けるとともに、自分でも副作用の症状が出ていないかチェックすることが大切です。気づいた症状は治療日誌につけて、次の診察のときに提示しましょう。症状によっては次の診察日まで待たずに、すぐに主治医・薬剤師・看護師などの医療スタッフに連絡をしてください。

● 副作用が現れやすい時期

ボルテゾミブ注射用「DSEP」の副作用は、その発現時期により「早期に出現する副作用」と「中後期に出現する副作用」に大きく分類されます。副作用の種類によって、現れる時期に特徴があります。

● 副作用が現れる時期(目安)

注射直後～1週間程度	発熱、食欲不振、吐き気・嘔吐、便秘、下痢、 ^{ほっしん} 発疹、皮下注射部位の赤み・かゆみ、低血圧、全身けん怠感など
数週間後	肺・心臓の症状 、骨髄抑制(白血球・血小板の減少)、下痢、便秘など
数週間～数ヵ月後	末梢神経の症状(手足のしびれ・痛みなど)



● 特に重要な副作用

《肺の障害》

ボルテゾミブ注射用「DSEP」で治療中の患者さんの中に、ボルテゾミブ注射用「DSEP」が関与していると思われる重い肺の病気（間質性肺炎など）を起こした方がおり、死亡例も出ています。肺の病気を早期に発見して重症化を防ぐため、**息切れ、呼吸が苦しい、咳、発熱**が続くといった症状が現れた場合には、速やかに主治医・薬剤師・看護師などの医療スタッフにご連絡ください。



息切れ



咳



呼吸が苦しい



発熱

《心臓の障害》

心臓に影響がみられる場合があります。死亡例も出ています。**体重の増加や全身のむくみ、脈の乱れ**などが現れた場合には、速やかに主治医・薬剤師・看護師などの医療スタッフにご連絡ください。



副作用の初期症状

肺の障害	風邪のような症状 息切れ、呼吸がしにくい、咳および発熱 などの症状
心臓の障害	足のむくみ、体重増加、脈の乱れ 、胸の圧迫感 坂道をのぼったり、重いものを持つと息切れが激しくなる

● 治療中にみられるその他の副作用

《手足のしびれ・感覚異常(末梢神経の障害)》

多くの患者さんで、**治療中に手足の先にしびれ・ピリピリ感・痛みを感じたり、感覚が鈍くなったり、冷感や温感など温度が感じにくかったり、足がむずむずする**といった症状がみられます。このような症状が現れた場合は、速やかに主治医・薬剤師・看護師などの医療スタッフにご連絡ください。



手足のしびれ



温度が感じにくい

気になる症状をチェックする

《発熱》

ボルテゾミブ注射用「DSEP」を注射した日から翌日にかけて、**一時的な発熱**が高い頻度で起こります。主治医から解熱剤を渡されている方は指示通りに服用してください。また、**発熱が続く場合は感染症が起きている可能性**もあるため、速やかに主治医・薬剤師・看護師などの医療スタッフにご連絡ください。

《骨髄抑制》

ボルテゾミブ注射用「DSEP」は骨髄の正常な細胞にも作用するため、白血球や赤血球、血小板などの血液細胞が減少する「骨髄抑制」が高い頻度で起こります。そのため、肺炎などの**感染症や貧血、出血**などが起こりやすくなります。

必要に応じて白血球を増やすお薬を使ったり、輸血で補ったりします。感染症を防ぐには、手をよく洗い、こまめにうがいをして、体を清潔に保つことが有効です。**喉の痛み、寒気(悪寒)、発熱、排尿時の痛み**などが現れた場合には、速やかに主治医・薬剤師・看護師などの医療スタッフにご連絡ください。また、出血を避けるため、転んだりぶつかけたり、ケガをしないよう気をつけてください。圧迫することも内出血の原因になるので避けましょう。また、**血便や皮膚の下に身に覚えのない斑点(出血斑)、口の中に血まめ(血腫)**が現れた場合には、速やかに主治医・薬剤師・看護師などの医療スタッフにご連絡ください。



喉の痛み



寒気



発熱



はいによう
排尿時の痛み

気になる症状をチェックする

《低血圧》

めまい、ふらつき、低血圧が起こることがありますので、いきなり立ち上がったたり、急に体位を変えないように気をつけましょう。

寝ている姿勢から立ち上がる時は、上半身をまず起こしてしばらく時間をおき、次に椅子に腰掛けてしばらく時間をおき、その後立ち上がることで、こうした症状を和らげることができます。



低血圧

《胃腸症状》

食欲不振、吐き気、便秘、下痢などの胃腸症状が高い頻度で起こります。食事がとれない場合も、脱水症状を避けるためにイオン飲料（スポーツ飲料）などで十分な水分補給をこころがけてください。



便秘・下痢

《疲労感、けん怠感^{たいかん}、脱力感》

疲労感、体のだるさ（けん怠感）、脱力感が高い頻度で起こります。疲れを感じたときは無理をせず、体を十分に休めて体力を温存してください。



けん怠感^{たいかん}

《皮膚症状》

発疹が出ることがあります。赤い斑点状で真ん中が盛りあがっていることが多く、痛みやかゆみなどはあまりみられません。他に、**皮下注射した部位で赤み、かゆみ**などが起こることがありますが、時間とともに消失します。



ほっしん
発疹

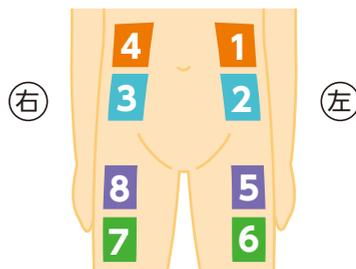
4 治療日誌をつける

- ボルテゾミブ注射用「DSEP」を初めて注射した日から、月日を記入します。
見開き2ページで3週間記入できるようになっています。

- ボルテゾミブ注射用「DSEP」の注射を受けた日に○印を入れましょう。

- 注射部位の記録をつけましょう(皮下注射のとき)。

皮下注射では部位を替えて注射していきますので、右の図を参考に注射のたびに部位を記入しましょう。



- 体温と体重の記録をつけましょう。

できるだけ毎日、同じ時刻に測定しましょう。

- 食事の量を記録しましょう。

全部食べられたら◎、半分以上食べたときは○、半分以下なら△、食べられなかったときは×印をつけましょう。

- 毎日、体調と副作用のチェックをしましょう。

表に記載されている症状にあてはまる項目があれば○を入れ、主治医にみせてください。嘔吐や下痢などは回数も記入しましょう。末梢神経の症状がある場合は、強い・少し、のいずれかに○を入れましょう。

- メモ欄には気になることや、主治医・薬剤師・看護師などの医療スタッフに伝えたいことなど、なんでも記入しましょう。

記入例

治療日誌 お名

左ページ、注射部位の図の番号を記入してください。

週		1 週目							
月/日		4/10	4/11	4/12	4/13	4/14	4/15	4/16	4/17
ボルテゾミブの注射日		○			○				○
注射部位の番号		1			2				4
注射部位の赤みやかゆみ		赤み かゆみ	赤み かゆみ	赤み かゆみ	赤み かゆみ	赤み かゆみ	赤み かゆみ	赤み かゆみ	赤み かゆみ
他の治療薬の投与日		○	○	○	○				
体温(℃)		36.2	36.8	36.5	37.0	37.4	36.7	36.4	36.9
体重(kg)		54.3			52.9	52.5		52.6	52.4
食事の量*		△	○	◎	×	○	○	○	△
肺・心臓の 症状	息切れ								
	咳	○					○	○	○
	呼吸が苦しい								
	むくみ								
感染症の 症状	発熱(37℃以上)				○	○			
	のどの痛み								
	寒気					○			
胃腸の 症状	便秘				○				
	下痢(回数)							○2	
	吐き気								
嘔吐(回数)		○1							
	末梢神経の 症状	手足の痛み	強い				○		
		手足のしびれ・ピリピリ感	強い	○	○			○	
手足の感覚のまひ	強い				○				
	少し							○	
その他	疲労・けん怠感	○							
	めまい・ふらつき								
	体の痛み(腰など)								

回数も記入してください。

気になることをメモ欄に記入してください。

メモ (気になることや医師に伝えたいこと等)
 ・あまり食欲がなく、体重も少し落ちた。
 ・ポタンがかけにくくなった。

*食事の量 ◎: 全部食べた、○: 半分以上食べた、△: 食べたのは半分以下、×: 食べられなかった

主治医の 記入欄	好中球数(/ μ L)	2,100	3,000
	ヘモグロビン(g/dL)	10.5	12.2
	血小板数(10^4 / μ L)	18.1	20.3
	SpO ₂ (%)	98	97

治療日誌

お名前： _____

週		週目						
月/日								
ボルテゾミブの注射日								
注射部位の番号								
注射部位の赤みやかゆみ		赤 み かゆみ						
他の治療薬の投与日								
体温(℃)								
体重(kg)								
食事の量*								
肺・心臓の 症状	息切れ							
	咳							
	呼吸が苦しい							
	むくみ							
感染症の 症状	発熱(37℃以上)							
	のどの痛み							
	寒気							
胃腸の 症状	便秘							
	下痢(回数)							
	吐き気							
	嘔吐(回数)							
末梢神経の 症状	手足の痛み	強い						
		少し						
	手足のしびれ・ピリピリ感	強い						
		少し						
	手足の感覚のまひ	強い						
		少し						
その他	疲労・けん怠感							
	めまい・ふらつき							
	体の痛み(腰など)							
メモ (気になることや医師に伝えたいこと等)								

* 食事の量 ◎：全部食べた、○：半分以上食べた、△：食べたのは半分以下、×：食べられなかった

主治医の 記入欄	好中球数(/ μ L)		
	ヘモグロビン(g/dL)		
	血小板数(10^4 / μ L)		
	SpO ₂ (%)		

治療日誌

お名前： _____

週		週目						
月/日								
ボルテゾミブの注射日								
注射部位の番号								
注射部位の赤みやかゆみ		赤み かゆみ						
他の治療薬の投与日								
体温(℃)								
体重(kg)								
食事の量*								
肺・心臓の 症状	息切れ							
	咳							
	呼吸が苦しい							
	むくみ							
感染症の 症状	発熱(37℃以上)							
	のどの痛み							
	寒気							
胃腸の 症状	便秘							
	下痢(回数)							
	吐き気							
	嘔吐(回数)							
末梢神経の 症状	手足の痛み	強い						
		少し						
	手足のしびれ・ピリピリ感	強い						
		少し						
	手足の感覚のまひ	強い						
		少し						
その他	疲労・けん怠感							
	めまい・ふらつき							
	体の痛み(腰など)							
メモ (気になることや医師に伝えたいこと等)								

* 食事の量 ◎：全部食べた、○：半分以上食べた、△：食べたのは半分以下、×：食べられなかった

主治医の 記入欄	好中球数(/ μ L)		
	ヘモグロビン(g/dL)		
	血小板数(10^4 / μ L)		
	SpO ₂ (%)		

治療日誌

お名前： _____

週		週目						
月/日								
ボルテゾミブの注射日								
注射部位の番号								
注射部位の赤みやかゆみ		赤み かゆみ						
他の治療薬の投与日								
体温(℃)								
体重(kg)								
食事の量*								
肺・心臓の 症状	息切れ							
	咳							
	呼吸が苦しい							
	むくみ							
感染症の 症状	発熱(37℃以上)							
	のどの痛み							
	寒気							
胃腸の 症状	便秘							
	下痢(回数)							
	吐き気							
	嘔吐(回数)							
末梢神経の 症状	手足の痛み	強い						
		少し						
	手足のしびれ・ピリピリ感	強い						
		少し						
	手足の感覚のまひ	強い						
		少し						
その他	疲労・けん怠感							
	めまい・ふらつき							
	体の痛み(腰など)							
メモ (気になることや医師に伝えたいこと等)								

* 食事の量 ◎：全部食べた、○：半分以上食べた、△：食べたのは半分以下、×：食べられなかった

主治医の 記入欄	好中球数(/ μ L)		
	ヘモグロビン(g/dL)		
	血小板数(10^4 / μ L)		
	SpO ₂ (%)		

治療日誌

お名前： _____

週		週目						
月/日								
ボルテゾミブの注射日								
注射部位の番号								
注射部位の赤みやかゆみ		赤み かゆみ						
他の治療薬の投与日								
体温(℃)								
体重(kg)								
食事の量*								
肺・心臓の 症状	息切れ							
	咳							
	呼吸が苦しい							
	むくみ							
感染症の 症状	発熱(37℃以上)							
	のどの痛み							
	寒気							
胃腸の 症状	便秘							
	下痢(回数)							
	吐き気							
	嘔吐(回数)							
末梢神経の 症状	手足の痛み	強い						
		少し						
	手足のしびれ・ピリピリ感	強い						
		少し						
	手足の感覚のまひ	強い						
		少し						
その他	疲労・けん怠感							
	めまい・ふらつき							
	体の痛み(腰など)							
メモ (気になることや医師に伝えたいこと等)								

* 食事の量 ◎：全部食べた、○：半分以上食べた、△：食べたのは半分以下、×：食べられなかった

主治医の 記入欄	好中球数(/ μ L)		
	ヘモグロビン(g/dL)		
	血小板数(10^4 / μ L)		
	SpO ₂ (%)		

治療日誌

お名前： _____

週		週目						
月/日								
ボルテゾミブの注射日								
注射部位の番号								
注射部位の赤みやかゆみ		赤み かゆみ						
他の治療薬の投与日								
体温(℃)								
体重(kg)								
食事の量*								
肺・心臓の 症状	息切れ							
	咳							
	呼吸が苦しい							
	むくみ							
感染症の 症状	発熱(37℃以上)							
	のどの痛み							
	寒気							
胃腸の 症状	便秘							
	下痢(回数)							
	吐き気							
	嘔吐(回数)							
末梢神経の 症状	手足の痛み	強い						
		少し						
	手足のしびれ・ピリピリ感	強い						
		少し						
	手足の感覚のまひ	強い						
		少し						
その他	疲労・けん怠感							
	めまい・ふらつき							
	体の痛み(腰など)							
メモ (気になることや医師に伝えたいこと等)								

* 食事の量 ◎：全部食べた、○：半分以上食べた、△：食べたのは半分以下、×：食べられなかった

主治医の 記入欄	好中球数(/ μ L)		
	ヘモグロビン(g/dL)		
	血小板数(10^4 / μ L)		
	SpO ₂ (%)		

治療日誌

お名前： _____

週		週目						
月/日								
ボルテゾミブの注射日								
注射部位の番号								
注射部位の赤みやかゆみ		赤 み かゆみ						
他の治療薬の投与日								
体温(℃)								
体重(kg)								
食事の量*								
肺・心臓の 症状	息切れ							
	咳							
	呼吸が苦しい							
	むくみ							
感染症の 症状	発熱(37℃以上)							
	のどの痛み							
	寒気							
胃腸の 症状	便秘							
	下痢(回数)							
	吐き気							
	嘔吐(回数)							
末梢神経の 症状	手足の痛み	強い						
		少し						
	手足のしびれ・ピリピリ感	強い						
		少し						
	手足の感覚のまひ	強い						
		少し						
その他	疲労・けん怠感							
	めまい・ふらつき							
	体の痛み(腰など)							
メモ (気になることや医師に伝えたいこと等)								

* 食事の量 ◎：全部食べた、○：半分以上食べた、△：食べたのは半分以下、×：食べられなかった

主治医の 記入欄	好中球数(/ μ L)		
	ヘモグロビン(g/dL)		
	血小板数(10^4 / μ L)		
	SpO ₂ (%)		

治療日誌

お名前： _____

週		週目						
月/日								
ボルテゾミブの注射日								
注射部位の番号								
注射部位の赤みやかゆみ		赤み かゆみ						
他の治療薬の投与日								
体温(℃)								
体重(kg)								
食事の量*								
肺・心臓の 症状	息切れ							
	咳							
	呼吸が苦しい							
	むくみ							
感染症の 症状	発熱(37℃以上)							
	のどの痛み							
	寒気							
胃腸の 症状	便秘							
	下痢(回数)							
	吐き気							
	嘔吐(回数)							
末梢神経の 症状	手足の痛み	強い						
		少し						
	手足のしびれ・ピリピリ感	強い						
		少し						
	手足の感覚のまひ	強い						
		少し						
その他	疲労・けん怠感							
	めまい・ふらつき							
	体の痛み(腰など)							
メモ (気になることや医師に伝えたいこと等)								

* 食事の量 ◎：全部食べた、○：半分以上食べた、△：食べたのは半分以下、×：食べられなかった

主治医の 記入欄	好中球数(/ μ L)		
	ヘモグロビン(g/dL)		
	血小板数(10^4 / μ L)		
	SpO ₂ (%)		

ボルテゾミブ[®]注射用「DSEP」

医療機関名（連絡先）

〈緊急時連絡先〉

医師名

看護師名

薬剤師名



第一三共エスファ株式会社

EPBOR1P01001-1
2026年2月作成